

木暮人連続セミナー 森と木が育む健やかな暮らし

2018年5月～10月 全6回シリーズ

◇セミナー概要◇

本連続セミナーは、先人の知恵や自然に添う生き方を模索、実践している「木暮人」な人々との対話から

健やかに生きる暮らしのヒントを探ります。

子供の未来・教育。森林医学や森林セラピー。森林・林業の未来。森と化学物質・ストレスや健康の関係。自然素材・無垢材の可能性など。多様な視点から健やかな暮らしについて考えていきます。

◇参加費：資料代として1,000円◇

◇申し込み方法◇

メールまたはお電話でお申込みください。

メール infom@kogurebito.jp 電話：03-6274-6575

◇会場◇

6回連続セミナーの会場は銀座または御茶ノ水のいずれかになりますので、その都度ご注意ください。

◇銀座会場◇

中央区銀座7-4-12
銀座メディカルビル9階
(旧ぎょうせいビル)
セミナールーム
東京メトロ銀座駅C3出口
東京メトロ新橋駅5番出口

◇御茶ノ水会場◇

千代田区神田駿河台4-6
御茶ノ水ソーシアカデミア
デジタルハリウッド大学3階
JR「御茶ノ水駅」
千代田線「新御茶ノ水駅」
丸ノ内線「御茶ノ水駅」

登山家・医学博士の今井通子さんからのメッセージ

木暮人倶楽部総会記念講演より 2017年3月25日

世界の名峰を登ってきた、登山家で医学博士の今井通子さんは、次のように語られました。

私たちは、大気汚染、食品添加物、化学物質、化学製品そして放射能等不自然なものから、簡単に逃げる事は出来ない。

だからこそ、それらを跳ね返す、**生き物としての野生の力。そして免疫・自然治癒力を身につける事が大切。**

登山やマラソンは誰もがもつ「野生の力」を引き出してくれ、**豊かな自然の森林のチカラ、多様性、そして光・音・清浄で新鮮な空気こそが何より健康に大切なものであるということ。**

今井さんの原点は、医者であったご両親が子供の時から、休みに必ず海や山で過ごし、その暮らしの習慣が、世界の山にも挑戦できる自分の健康を養ってくれていた。という経験を振り返られました。



◇6回シリーズ予定◇

① 5/26 (土) 14:00～17:00

「森の中の保育でみえたこと」

映画監督・筒井勝彦

森のようちえんピッコロ代表 中島久美子

② 6/16 (土) 14:00～17:00

「木の凄い家～施主と設計者が語る、いい家とは？」

吉田就彦 木暮人倶楽部理事長

落合俊也 森林・環境建築研究所

③ 7/14 (土) 14:00～17:00

「林業から森業へ、木育から森育へ、究極木造建築とは」

鳥井英徳 ログ工房ととの森

杉浦剛一

三木一弥 森と踊る(株)

④ 8/25 (土) 14:00～17:00

「フィンランドのサウナ文化から学ぶ

森林と健康の素敵な関係」

東海林みき

⑤ 9/15 (土) 14:00～17:00

「建築家の自邸、金物も接着剤もつかわない木の家」

山本厚生

⑥ 10/20 (土) 14:00～17:00

「本物の国産桐はまだあった！

会津で昔ながらの立ち枯れ桐を産材をしている

齋藤桐材店の齋藤さんと山田さんの話」

会津齋藤桐材店 齋藤洋一

福島県農林水産部林業振興課 山田誠

◇主催・当該セミナーに関するお問い合わせ先

一般社団法人木暮人倶楽部

木暮人倶楽部は、素晴らしい日本の木の文化と天然志向の木の良さを社会にアピールすることで木のファンを増やし、林業の健全な発展と木とともに、暮らしに良い環境の醸成や森林の保全及び育成に寄与する事を目的に設立されました。

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12

銀座メディカルビル9階

Mail: infom@kogurebito.jp TEL: 03-6274-6575

FAX: 03-6274-6422 サイト: <http://www.kogurebito.jp>

◇共催

「デジタルハリウッド大学院吉田就彦研究室森林・林業研究部会」



木暮人連続セミナー2018年 6回連続

森と木が育む健やかな暮らし

木育から森育へ、林業から森業へ、究極木造建築とは

森の底知れない力を

杉浦剛一

三木一弥

鳥井英徳が語るよ！

7月14日 土曜日 14:00~17:00
@銀座メディカルビル9階 (旧ぎょうせいビル) 資料代 千円

テーマ:木育から森育へ

お母さんと子供たちと皮むき間伐を通して森育の活動。心身を解放してくる森の力は、引きこもりの子供さえ、森遊びに夢中になる。木を育てる事は、人を育てる事に繋がる。

杉浦剛一:

1968年生まれ。求人情報誌の出版社を経て、29歳で独立、広告会社設立。インターネットコンテンツ事業まで全国展開、上場を目指したが、ITバブル崩壊で、上場を断念。1年間休業の後、形に残る仕事として、トヨタホーム等の住宅業界を知るが、その実情に落胆。以後、環境負荷を掛けない建築方法や健康に寄与する、自然の恵みを生かした暮らしを知り、建築のみならず、林業、自然農法、自然食などに自然の恵みを最大限に取り入れる暮らしを目指す。現在、妻と大震災のあった年に生まれた息子との三人暮らし。森での活動を通じて、全国の子育てファミリーと繋がり、森林の再生、森での教育、間伐材を使った建築で、森と街と暮らしを繋げる活動中。



テーマ:変な木こり、「林業」の枠を突き破り「森業」始める。常識は疑ってかかれ、何も無しから始めたきこり生活の4年半、森業の今。そして未来に観ている森の可能性と人・企業・社会の可能性。



三木 一弥:木こり

森と踊る株式会社 代表

1969年生まれ。子供の頃から遊園地より動物園、屋内より屋外へと大自然に惹かれる。大学院卒業後、(株)クボタにて、水処理のエンジニアを経て、組織改革、新規事業立上げを経験。2013年末、突如きこりになることを決意し会社を退職。木こり生活開始。2016年2月、「美しい自然がどこまでも広がっている。そこで人々が笑顔で分かち合っている。モノやコトも分かち合っている。自然と人も分かち合っている」という100年後の未来の実現のために「森と踊る株式会社」を設立。



テーマ:これってログハウス？それとも、在来工法？いや、究極木造建築だ！

話し出したら止まらない。森そして木材への深い愛情。そして雨漏りしないだけでない、究極木造建築、ログ在来・ミックスハウスづくりへの情熱を語ります。

鳥井 英憲:ウッドクリエイター

ログ工房とつとの森株式会社 代表

チェーンソーカービング世界チャンピオンで清水国明氏主催の自然暮らしの会の副主宰、香垂奈工房の栗田さんと出会いログハウスの世界を知る。その後、君津の神子建設で在来工法、そして恩人である太田親方との出会いにより、職人として、木造住宅のあるべき姿を探究。欠陥住宅の象徴ともいわれかねないログハウスとは一線を画した、ウッドクリエティブハウスを提唱。



◇会場 東京都中央区
銀座7-4-12
銀座メディカルビル9階
(旧ぎょうせいビル)
セミナールーム
東京メトロ銀座駅C3出口
東京メトロ新橋駅5番出口



次回7月木暮人セミナー

8/25 (土) 14:00~17:00

「フィンランドのサウナ文化から学ぶ
森林と健康の素敵な関係」
東海林みき